

公表

## 【児童発達支援】事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス花咲か舎					公表日	令和 8年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。		3	・放デイとは2階の利用時間等を事前に打ち合わせし、必要な療育が出来る時間が保証し合えた。 ・児発同士では、お互いの動きが気になり集中が途切れることもあったが、良い刺激となって意欲がでたり交流する機会にもなった。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・個別療育の為、一対一で療育に関わることができる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3		・バリアフリーではない。 ・持ち物の収納がやりやすい環境を改善していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1		・指導員の日頃からの整理整頓、清潔への意識を持ち続けなければと思っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	・個別の部屋を確保することはできないがパーティションで仕切る等に対応している。 ・クールダウンが出来る場所を臨機応変に確保しようと努めている。	・ついたてで仕切ることが出来るだけなので、個別に対応出来る場所や部屋が必要かと思うので相談室の整理整頓を心掛け、使えるスペースの確保に努めたい	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			・隙間時間も利用してされていると思うがもっとしっかり時間が取れた方が良いので毎週木曜日のミーティングの時間を有効に活用する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・ミーティング等で情報共有、今後の方針検討はできている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・ミーティング等で意見を出し合っている。	・業務改善までは難しいケースもあると思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		・外部評価を業務改善に繋がらなければと思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・定期的なオンライン研修がある。	・もっと研修の時間を確保したい。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・その子の特性、成長に合わせて支援プログラムを作り、会議等で検討、保護者に提供できていると思う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		・保護者から提供された病院での検査結果も利用し課題を客観的に分析して、具体的に療育に取り入れられる活動を考え個別支援計画を作成している。	・アセスメントが適切か、もっと時間をかけて熟慮していきたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・深く関わる担当者が中心となり、職員間で確認し、情報共有をしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・ミーティング等で共通理解し検討している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		・支援計画作成時にはしているが、もっと日常的にするべき。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・年間計画を作り担当も決めるが、良いアイデアがある場合は、柔軟に取り入れて固定化しない様によく話し合っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・良いアイデアがあればいつでも出し合い、多方面の情報をキャッチし共有していくようにしている。 ・年一回は社会科見学ができるよう企画している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		・基本は個別支援療育なので保護者の希望により、同じ時間帯のお子さん同士で、うまく関わりあえる活動を少しずつ無理なくできる範囲で取り入れている。	・希望があっても、利用児が1人の場合、集団活動ができず、利用日調整が難しいが、イベントの参加時などを活用して集団活動での療育の機会にしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・朝の打ち合わせがあることで、共通理解をもってスムーズに活動できている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・打ち合わせではないが、その日の様子、気づいた点を共有している。 ・翌朝の打ち合わせで共有している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・保護者への連絡ノートに活動の様子を書くことが、支援の検証、改善に繋がっている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・年2回モニタリングを行い、個別支援計画の適切な見直しをしている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・担当者が参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・地域交流の活動は限られるが、消防署見学、図書館見学には行けたので良かった。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・1人1人の個性や「やりたい」気持ちを尊重している。 ・その子の特性と成長を見極め、活動のバランスをとれるよう工夫した。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・支援シートを保護者とともに作成し小学校との連携を取り図っている。		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		・そういう機会がより増えると良いと思う。 ・交流といういつもと違う環境は、事業所内の行事等で交流する機会作りしていった。それくらいの範囲が安心して経験できる段階だと思う。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・対面、公式LINE、電話、連絡ノート等の保護者の利用しやすいツールで共通理解を深めている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・ペアトレを定期的に開催しているので、必要な保護者が利用でき、助けになっている。 ・花々カフェは保護者同士の交流のよい機会になっている。	・現状参加者があまり集まらないので参加しやすい工夫をし呼びかけたい。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・運営規程、利用者負担は年度初めに明確に伝えられている。支援プログラムは毎月適時に出ていると思う。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・モニタリング時、意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		・具体例も加え分かりやすく伝えるようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・連絡ノート、面談、公式LINE、電話相談などで支援を行っている。 ・なるべく保護者から相談があった日に対応できるように時間調整し対応した。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		・イベントへの家族参加を呼びかけ交流の機会を設けている。 ・花々カフェやクリスマス会の行事で保護者、兄弟が交流出来たと思います。参加者が増えるアイデアがあると良いのですが。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		・毎月お便りを発行し配布している。 ・SNSにて活動を公開している。 ・公式ライン等で伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の取り扱いに気を付けている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・できる範囲でしている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		・ハロウィンでは、町内の方と交流、ぶどうや野菜を寄付してくださった地域の方にはお礼のメッセージを送ることもできた。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・マニュアルは準備されている。地震火災の避難訓練実施されている。	・今後他の訓練もできる範囲で範囲でできると良いと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		・実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		・事前に保護者から情報をもらい、確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・対象者がいれば、対応する。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		・計画はありますが、研修、訓練も機会があると良いと思う。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	・災害時避難場所と保護者に連絡することは周知されている。連絡できるよう必ず名簿携帯している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			・打ち合わせなどで、情報共有し、再発を防いでいる。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	・ケースバイケースでどの対応が本人の為になるか指導員間で情報共有している。		